

船橋市保健所 情報誌

Face to Health

No.33【令和3年10月発行】

※令和3年11月15日改訂
(船橋市新型コロナウイルス感染症相談センター受付時間変更)



～速やかな受診があなたを、みんなを守る～

受診の遅れが感染の拡大につながります！！

「まさか自分が感染しているはずがない」と、受診を後回しにしたことで、周りに感染を拡げてしまったケースが多く見受けられます。

早期に受診することで、感染の拡大を防ぎ、適切な治療にもつながります。

また、重症化リスクが高い方を対象とした抗体カクテル療法(※)も選択できる可能性が高まります。

(※)重症化を防ぐことを目的に、**発症してから早期の軽症者**のうち、肥満や糖尿病などの重症化リスクがある人に対して行われる治療



体調が普段と違うと感じたら、
新型コロナに感染しているかもしれない・・・との意識を持って行動しましょう。

**あなた自身が重症化しないためにも、
そしてあなたの大切な人へ感染させないためにも、早めの受診を！**

**症状が出たら、外出せず、仕事や学校などは休みましょう
お子さんの体調が悪そうであれば、学校や保育園などを休ませましょう**

症状が出たら・・・

かかりつけ医や船橋市新型コロナウイルス感染症相談センターへ相談を。

船橋市新型コロナウイルス感染症相談センター

☎047-409-3127

午前9時～午後5時※(土)(日)(祝)(休)を含む
・11月15日(月)より、(月)～(金)の受付終了時間を
午後7時から午後5時に変更しました

※千葉県発熱相談コールセンター(☎0570-200-139)では24時間(土)(日)(祝)(休)を含む相談を受け付けています

※言語・聴覚障害がある人はFAX 047-409-2952へ

※緊急を要する場合は、救急車を呼んでください(119番)。

発熱等がある場合は必ず救急隊に伝えてください

個人として徹底すべきこと

●基本的な感染対策

会話をするときには必ずマスクを着用、3密の回避、手洗い・消毒の徹底

●毎朝の検温、症状の確認と記録



体調不良を感じたら、出勤をやめたり、自発的に早退する

発熱・せき症状がある など
いつもの体調と違うな、と感じた場合は積極的に休みましょう

●休日や家庭内などでも感染リスクの高い行動をとらない

職場として徹底すべきこと

●従業員の体調の確認と記録

症状がある場合は出勤させない、早退させる

体温やせき症状など、休日の体調も記録しましょう
体調不良者が休みやすい職場環境(体制)を作りましょう



●こまめな換気



- ・30分に1回以上、数分間程度窓を全開にする
- ・空気の流れを作るため、2方向の窓やドアを開放する

市内では、換気が不十分であったために発生した
クラスターの事例もあります



●感染リスクの高い行動をしないよう従業員への周知

昼食中や更衣室、休憩室、洗面所などマスクを外しがちな場面を含めて、
マスクなしでの会話はしない

職場内で感染者や濃厚接触者が多数発生すると…

通常業務ができなくなる可能性があります！

感染した従業員は、療養解除まで出勤(勤務)できません。

感染した従業員の濃厚接触者となってしまった場合は、
感染者と接触した日の翌日から
14日間出勤(勤務)できません。



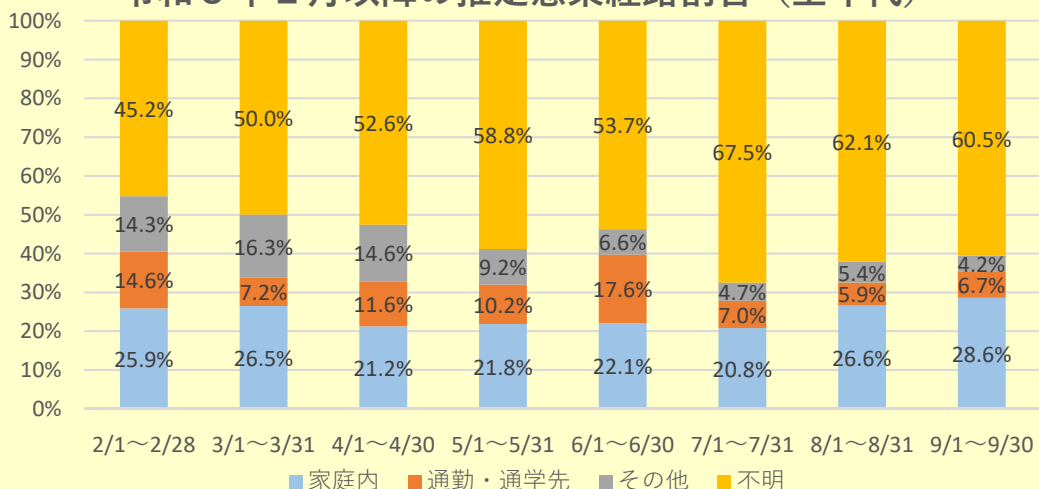
体調不良者が出勤して
感染が拡まったケースもあります

注意

ひとりの感染から家族全員が感染するかもしれません

感染経路が判明している市内居住患者では同居家族や同居人から感染する「**家庭内感染**」の割合が多くなっています

令和3年2月以降の推定感染経路割合（全年代）



同居しているご家族が

- 高齢者の場合
⇒ **重症化リスクが高い**
- 妊婦の場合
⇒ **入院先が見つかりにくい**
肺炎を起こした場合、妊娠していないときに比べて**重症化する可能性がある**
- お子さんの場合
⇒ **無症状のまま家庭内に持ち込む場合がある**

ご家族に感染が疑われる方がいる場合は

感染拡大防止のため家庭内でも感染対策を徹底しましょう

部屋を分けて、症状がある人はなるべく部屋から出ない



こまめに手洗い
手指消毒



感染者が他の人に感染させる可能性がある期間は発症の2日前から発症後7~10日間程度とされています。特に、発症の直前・直後でウイルス排出量が高くなるため、無症状病原体保有者(症状はないが検査が陽性だった者)からも、感染する可能性があります。

家の中でもマスクをつける



定期的に換気する



ドアノブなど共用部分を消毒する



タオルなどは共用しない
ゴミは密閉して捨てるなど

ワクチンを接種しても油断しないで！

ワクチンは重症化を抑えたり発症を予防する効果がありますが、**感染しない、させないわけではありません**

市内の感染者のうち、既にワクチンを2回接種済みであったにもかかわらず、感染した例が複数確認されています



ワクチン接種後も引き続き感染防止対策を徹底しましょう！

このようなマスクのつけ方をしていませんか？



鼻が出ている



あごにマスクを
かけている



マスクが大きく
すき間ができています

ウイルスの侵入を
防ぐことが
できません

感染している場合、
周りに飛沫する
ウイルス量が
増加します

- マスクは正しく着用しましょう
- マスクは布やウレタンよりも不織布の方が効果が高いことが示されています
- 品質の確かな、できれば不織布マスクを使用しましょう

※内閣官房新型コロナウイルス感染症対策ホームページより



マスクの効果検証結果
(内閣官房ホームページ)

保健所長より

これからの時期は、ハロウィンやクリスマス、年末年始などの人が集まる機会が多くあります。

9月以降感染者数は減少傾向にありますが、昨年度は10月以降感染者数が増えたこともあり、油断はできません。



感染を拡げないために、体調不良を感じたら、家庭内でも感染予防をし、出勤や登校を控え、早めの医療機関の受診を心がけましょう。

令和2年7月～令和3年2月までの感染者数



船橋市新型コロナウイルス感染症相談センター

☎047-409-3127

午前9時～午後5時※(土)(日)(祝)(休)を含む
・11月15日(月)より、(月)～(金)の受付終了時間を
午後7時から午後5時に変更しました

船橋市新型コロナウイルス
ワクチン接種・相談特設コールセンター

☎050-5526-1142

午前8時～午後5時 ※(土)(日)(祝)(休)を含む

令和3年10月15日発行
(令和3年11月15日改訂)

船橋市新型コロナウイルス
感染症対策 保健所本部

〒273-8506

所在地：船橋市北本町1-16-55

電話：047-409-1898

F A X：047-409-2952

M a i l：ho-somu@city.funabashi.lg.jp

(保健総務課)